
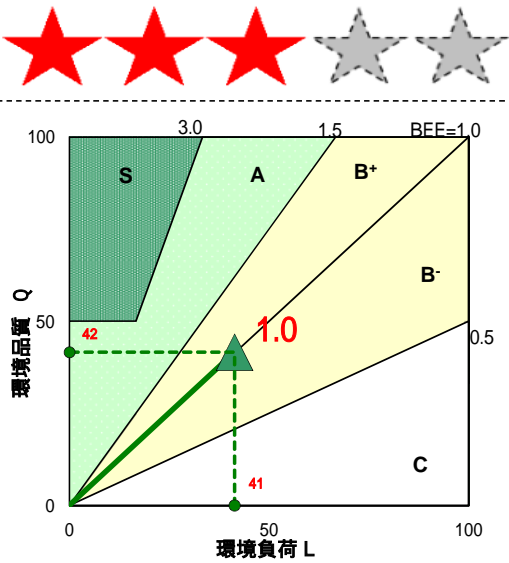


# CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

建物概要				外観	
建物名称	リパテーブ製薬(株)熊本第三工場新築	階数	地上1F		
建設地	熊本県菊池市七城町蘇崎字城の本	構造	S造		
用途地域	区域外、指定なし	平均居住人員	60人		
気候区分	地域区分	年間使用時間	3,750時間/年		
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2014年12月22日		
敷地面積	55,366 m <sup>2</sup>	作成者			
建築面積	4,150 m <sup>2</sup>	確認日	2014年12月24日		
延床面積	3,928 m <sup>2</sup>	確認者			

## 1 CASBEE評価結果

**建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)**




環境品質 Q

環境負荷 L

BEE = 1.0

ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能 (ランク表示)



**環境効率評価基準**

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ライフサイクルCO<sub>2</sub> 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

**排出率**

**93%**

## 2 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価	評価点	
	<b>78</b>	
	<b>評価点</b>	<b>熊本県重点評価基準</b>
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	<b>85.0</b>	判定値(評価点)
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	<b>62.5</b>	ランク表示
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	<b>75.0</b>	100点以上
【重点事項4】 循環型社会の実現	<b>82.5</b>	80点以上100点未満
		60点以上80点未満
		40点以上60点未満
		40点未満

評価点は、100点以上が推奨です。

# CASBEE®熊本《新築》【評価結果】

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。  
 使用評価マニュアル：CASBEE 熊本《新築》2010年改訂版Ver.2 (BPIBEE製版) 使用評価ソフト：CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	リパテブ製薬(株)熊本第三工場新築	階数	地上1F
建設地	熊本県菊池市七城町蘇崎字城の本	構造	S造
用途地域	区域外、指定なし	平均居住人員	60人
気候区分	地域区分	年間使用時間	3,750時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2014年12月22日
敷地面積	55,366 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	4,150 m <sup>2</sup>	確認日	2014年12月24日
延床面積	3,928 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 30% 60% 80% 100% 100%超  
 参照値 100%  
 建築物の取組み 93%  
 上記+ 以外の 93%  
 上記+ 93%

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
 Q1 室内環境: 3  
 Q3 室外環境 (敷地内): 2  
 LR1 エネルギー: 3  
 LR2 資源・マテリアル: 3  
 LR3 敷地外環境: 2

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

### 3 熊本県重点評価結果

**重点事項総合評価** 評価点 = 78

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 評価点 = 85	重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 評価点 = 63
重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 評価点 = 75	重点事項4: 循環型社会の実現 評価点 = 83

**重点事項の評価 (レーダーチャート)**

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 'ライフサイクルCO<sub>2</sub>'とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-新築(簡易版)2010年追補**  
**リパテーブ製薬熊本第三工場新築工事**

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPIBE対応)

評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.30</b>					<b>2.7</b>
<b>1 音環境</b>		<b>1.8</b>	0.15	-	-	-	-	<b>1.8</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	-	
1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	1.00	-	-	-	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	-	-	
<b>1.2 遮音</b>		<b>1.0</b>	0.40	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能		<b>1.0</b>	0.60	-	-	-	-	
2 界壁遮音性能		<b>1.0</b>	0.40	-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	
<b>1.3 吸音</b>		<b>1.0</b>	0.20	-	-	-	-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.1</b>	0.35	-	-	-	-	<b>2.1</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>3.2</b>	0.50	-	-	-	-	
1 室温		<b>2.0</b>	0.38	-	-	-	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	-	-	
3 外皮性能	外壁:U=0.59、窓:SC=2.67・U=0.443(事務室:複層ガラス・ブラインド有)	<b>4.0</b>	0.25	-	-	-	-	
4 ゾーン別制御性	事務室:冷暖切替え可能(個別運転マルチ)	<b>4.0</b>	0.38	-	-	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>1.0</b>	0.20	-	-	-	-	
<b>2.3 空調方式</b>		<b>1.0</b>	0.30	-	-	-	-	
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.3</b>	0.25	-	-	-	-	<b>3.3</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>4.2</b>	0.30	-	-	-	-	
1 昼光率	事務室:3.5%	<b>5.0</b>	0.60	-	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	-	-	
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	-	
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	-	-	
2 昼光制御		<b>3.0</b>	1.00	-	-	-	-	
3 映り込み対策		-	-	-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.15	-	-	-	-	
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.25	-	-	-	-	
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.4</b>	0.25	-	-	-	-	<b>3.4</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>4.0</b>	0.50	-	-	-	-	
1 化学汚染物質	F 使用	<b>4.0</b>	1.00	-	-	-	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>		<b>2.6</b>	0.30	-	-	-	-	
1 換気量		<b>3.0</b>	0.33	-	-	-	-	
2 自然換気性能	0.076(1/15以上)	<b>4.0</b>	0.33	-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		<b>1.0</b>	0.33	-	-	-	-	
4 給気計画		-	-	-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-	-	-	
2 喫煙の制御		<b>3.0</b>	1.00	-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.2</b>	0.40	-	-	-	-	<b>3.2</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.3</b>	0.40	-	-	-	-	
1 広さ・収納性	12㎡以上	<b>5.0</b>	0.33	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		<b>2.0</b>	0.33	-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		<b>3.0</b>	0.33	-	-	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	
1 広さ感・景観	事務室天井高:3.0m	<b>5.0</b>	0.33	-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース		<b>3.0</b>	0.33	-	-	-	-	
3 内装計画		<b>1.0</b>	0.33	-	-	-	-	
<b>1.3 維持管理</b>		<b>3.5</b>	0.30	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	壁クロス汚れ防止タイプ(喫煙室) 床タイル貼(WC) 風除室 異なる床材使用なし 防汚性の高い外壁材 防鳥ネット	<b>4.0</b>	0.50	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	-	-	

<b>2 耐用性・信頼性</b>			<b>3.1</b>	0.31	-	-	<b>3.1</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>			<b>3.0</b>	0.48	-	-	
1 耐震性			3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>			<b>3.3</b>	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B以上を使用、E不使用	5.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23	-	-	
<b>2.3 適切な更新</b>			-	-	-	-	
<b>2.4 信頼性</b>			<b>3.0</b>	0.19	-	-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.7</b>	0.29	-	-	<b>3.7</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.31	-	-	
1 階高のゆとり		階高:6.0m	5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ		比率:0.09	5.0	0.40	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.31	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.4</b>	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性		構造部材・仕上材を痛めることなく、修繕できる。(LGS下地・天井点検口)	5.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性		仕上材を痛めることなく、修繕できる。(LGS下地・天井点検口)	5.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.22	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.40	-	-	<b>2.1</b>
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.3</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>3.4</b>
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		環境配慮型機器採用	4.0	0.43	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		#VALUE!	4.0		-	-	
集合住宅の評価			3.0		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.29	-	-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.4</b>
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水		自動水栓、節水型機器	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュ	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS下地、OA707-	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-	
1 消火剤		ハロン消火剤使用なし	4.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		・押出法ポリスチレンフォーム保温板(ノフロ) ・現場発泡ウレタン吹付(A種ノフロ)	5.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	

LR3 敷地外環境							
1 地球温暖化への配慮		高効率設備	3.2	0.33	-	-	3.1
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	・駐輪場 ・従業員駐車場 ・来客用駐車場	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	・光害対策がドライヴ項目の過半を満たす ・広告物照明の取扱いなし	5.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

# CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

## 4 設計上の配慮事項

### 総合

医薬品製造工場という性質上衛生面に配慮し、また外観はシンプルで落ち着いたデザインとした。

### Q1 室内環境

- ・事務スペースでは、個別制御可能な空調機を採用。
- ・F 製品使用。

### Q2 サービス性能

- ・更新必要間隔の長い給排水配管を採用し耐久性に努める。
- ・衛生器具の一部でグリーン購入適合品を採用し、節水を図る。
- ・階高、天井高とも余裕のある高さとした。

### Q3 室外環境（敷地内）

- ・敷地内に植栽を計画。

### LR1 エネルギー

- ・環境配慮型の照明器具を採用。
- ・潜熱回収型のガス給湯器を採用。

### LR2 資源・マテリアル

- ・自動水栓や節水型の衛生器具を採用。
- ・断熱材はノンフロン化の建材を使用予定。

### LR3 敷地外環境

- ・適切な量の駐車場（従業員用、来客用）、駐輪場を敷地内に計画。

### その他

## 熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 リバテープ製薬(株)熊本第三工場新築工事

評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010\_kmt2011(v3.0)

使用評価マニュアル: CASBEE熊本(新築)2011年版

熊本県重点評価結果				総合評価点		78.0
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
<b>温室効果ガス排出量削減の推進</b>				85	0.40	34.00
Q1-2.1.3	外皮性能	4.0	0.10			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.10			
Q1-3.2.2	昼光制御	3.0	0.10			
LR1 1	建物の熱負荷抑制	0.0	0.00			
LR1 2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1 3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3 2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
<b>安全安心で暮らしやすい社会の実現</b>				62.5	0.20	12.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
<b>県の地域資源の有効活用と保全</b>				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
<b>循環型社会の実現</b>				82.5	0.20	16.50
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.3	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.7	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

## 評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

## 総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和  
重み係数の総和は、「1」であること。

## 各重点事項( ~ の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20  
重み係数の総和は、「1」であること。

(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数